

**授業概要**

小学校学習指導要領を概説するとともに、教科書に取り上げられている教材を詳説する。その際には、可能な限り観察や実験を取り入れて指導する。そして、小学校において理科を指導する上で必要となる知識や技能、安全面での配慮事項など、教師として体得しておくべき基本的な素養の育成をはかる。

**授業計画**

第1回	オリエンテーション，小学理科の概要
第2回	学校および小学校学習指導要領における理科教育の目標
第3回	小学校理科の学習内容（A区分・B区分）
第4回	実験器具の取り扱い方と安全教育
第5回	A区分「物質・エネルギー」に関わる基本的事項「物体の運動」
第6回	A区分「物質・エネルギー」に関わる基本的事項「電気，磁石」
第7回	A区分「物質・エネルギー」に関わる基本的事項「光，物質の性質」
第8回	A区分「物質・エネルギー」に関わる基本的事項「物質の変化」
第9回	B区分「生命・地球」に関わる基本的事項「植物の成長，生物と環境」
第10回	B区分「生命・地球」に関わる基本的事項「動物の成長，人の体のづくり」
第11回	B区分「生命・地球」に関わる基本的事項「大地の構成とその変化」
第12回	B区分「生命・地球」に関わる基本的事項「天気とその変化」
第13回	B区分「生命・地球」に関わる基本的事項「太陽，月，星の動き」
第14回	理科における環境教育と野外観察の方法
第15回	まとめ
第16回	学期末試験

上記のうち、第4回から第14回の講義にかけて、実習や実験および野外観察を取り扱う。

**到達目標**

1. 小学校理科の各分野にわたる基礎的な教授内容を理解する。
2. 学習指導要領理科の目標，小学校理科の内容の構成と各学年の目標をふまえながら，児童の自然認識の形成を図る基本的な指導法を習得する。
3. 小学校理科で取り扱われる実験の基本的な操作，危険の回避，実験準備の注意点，考え方などを理解する。
4. 児童が体験することが予想される身の回りの事物・現象，自然とのふれ合いについて考える。

**履修上の注意**

本授業では，実験・観察を取り入れることが多い。説明を聞かずに取り組むと事故につながることもあるので，原則として遅刻は認めないので留意すること。

**予習・復習**

授業者として小学生の前に立つ場合，小学校理科の学習内容以上の知識を身につけておくことは重要である。そこで，本授業では，知識や実験の技能の定着を図る小テストを毎回行う。したがって，それに対応できる復習が特に重要である。

**評価方法**

授業の取り組み(20%)，小テストや課題(10%)，レポート及び試験の成績(70%)により評価する。欠席が1/3を超えた場合は，原則として評価対象とはしないので充分注意すること。

**テキスト**

小学校3～6年生の教科書「たのしい理科」(大日本図書)を使用するので用意すること。その他は適宜印刷して配布するが，以下のものを用意しておくことが望ましい。

参考資料：文部科学省『小学校学習指導要領』・『小学校学習指導要領解説 理科編』